

# 山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部

## 第14回本部員会議

### 次 第

日時 令和2年11月25日(水)  
午後3時45分～  
場所 県庁5階 502会議室

#### 1 開 会

#### 2 協 議

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生状況等について
- (2) G o T o キャンペーンの運用見直しに関する検討について
  - ・ G o T o イートについて
  - ・ G o T o トラベルについて
- (3) その他
  - ・ 山形県新型コロナ安心お知らせシステムについて

#### 3 閉 会

令和 2 年 11 月 25 日

## 新型コロナウイルス感染症の状況について

## 1 感染者の発生状況（PCR 検査により陽性と判定され医師の確定診断を受けた者）

(1) 世界の状況（厚生労働省発表：11月24日0時時点）〔191国・地域〕

感染者数計 58,597,983人（前日比 + 510,496人）

うち死亡者 1,387,399人（前日比 + 7,644人）

&lt; 国別内訳（日本+感染者が多い10カ国） &gt;

国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者	国・地域	感染者	死亡者
日本	133,929	1,989	フランス	2,140,061	48,581	イタリア	1,408,868	49,823
米国	12,246,849	256,782	ロシア	2,071,858	35,838	アルゼンチン	1,370,366	37,002
インド	9,139,865	133,738	スペイン	1,556,730	42,619	コロンビア	1,248,417	35,287
ブラジル	6,071,401	169,183	英国	1,515,802	55,120	その他 ※	721	15

※ 「その他」は、国際輸送案件（うち、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染者712人、死亡者13人）

(2) 国内の状況（厚生労働省発表：11月24日0時時点）〔47都道府県〕

感染者数計 133,929人（前日比 +1,571人）

うち死亡者 1,989人（前日比 +8人）

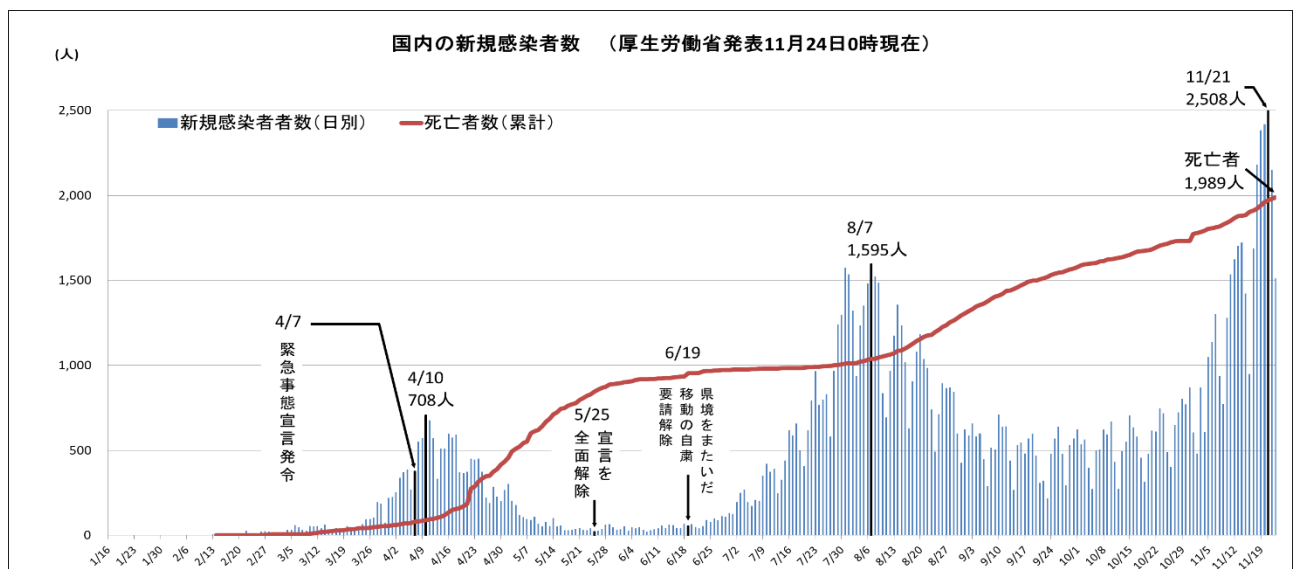
都道府県	感染者	都道府県	感染者	都道府県	感染者	都道府県	感染者
北海道	7,163 (+245)	東京都	38,022 (+314)	滋賀県	740 (+5)	香川県	131
青森県	281 (+1)	神奈川県	11,414 (+70)	京都府	2,409	愛媛県	234 (+26)
岩手県	137	新潟県	313 (+13)	大阪府	17,930 (+281)	高知県	148 (+2)
宮城県	1,100 (+9)	富山県	446 (+1)	兵庫県	4,775 (+137)	福岡県	5,552 (+9)
秋田県	74	石川県	835	奈良県	1,010 (+21)	佐賀県	293
山形県	109	福井県	303 (+1)	和歌山県	395 (+11)	長崎県	254
福島県	478 (+2)	山梨県	298	鳥取県	53	熊本県	970 (+3)
茨城県	1,284 (+32)	長野県	618 (+12)	島根県	142	大分県	223 (+4)
栃木県	573 (+1)	岐阜県	932 (+14)	岡山県	508 (+10)	宮崎県	433 (+5)
群馬県	1,045	静岡県	1,111	広島県	750 (+9)	鹿児島県	592
埼玉県	7,704 (+90)	愛知県	8,819 (+144)	山口県	356 (+4)	沖縄県	4,015 (+16)
千葉県	6,447 (+59)	三重県	732 (+11)	徳島県	179	その他 ※	1,599 (+9)
						計	133,929 (+1,571)

※ 海外在住で一時帰国して発症した人や外国人等（検疫所職員、空港検疫を含む）及び過去の感染者数の修正分。

※ 「感染者数計」は厚生労働省において再陽性例等を精査していることから、「前日比」と下欄グラフ上の「新規感染者数」の数は異なる場合がある。

(参考) 退院又は療養解除\*となった者の数（（）内は前日比増加人数）

国内感染者	クルーズ船	計
113,340 (+1,071)	659 (+0)	113,999 (+1,071)



※国際輸送案件、空港検疫で確認された案件は含まない

## <感染状況について>

- 新規感染者数は、11月以降増加傾向が強まり、2週間で2倍を超える伸びとなり、過去最多の水準となっている。大きな拡大が見られない地域もあるが、特に、北海道や首都圏、関西圏、中部圏を中心に顕著な増加が見られ、全国的な感染増加につながっている。感染拡大のスピードが増しており、このまま放置すれば、更に急速な感染拡大に至る可能性があり、厳しい状況が続いている。  
実効再生産数:全国的には1を超える水準が続いている。北海道、東京、大阪、愛知などで概ね1を超える水準が続いている。
- 感染拡大の原因となるクラスターについては、地方都市の歓楽街に加え、会食や職場及び外国人コミュニティ、大学生などの若者、医療機関や高齢者施設などにおける事例など多様化や地域への広がりがみられる。また、潜在的なクラスターの存在が想定され、感染者の検知が難しい、見えにくいクラスターが感染拡大の一因となっていることが考えられる。
- こうした感染拡大の要因を明確に断定することは難しいが、基本的な感染予防対策がしっかり行われていないことや、そうした中での人の移動の増加、気温の低下による影響も考えられる。
- 一方、感染者に占める60歳以上の割合は横ばいで推移しているが、感染者数は増加している。また、入院者数、重症者数は増加が続いており、病床占有率も上昇が続いている。このままの状況が続けば、予定された手術や救急医療の受入等を制限せざるを得なくなるなど、通常の医療との両立が困難となる。

### 【感染拡大地域の動向】

- ①北海道 札幌市を中心に接待を伴う飲食店などでクラスターが発生し、感染が拡大していたが、札幌市近郊を含め、道内全体にも感染が拡大。クラスターも、接待を伴う飲食店以外の職場、学校、医療機関や高齢者施設等が増加。濃厚接触者対応も厳しい状況となってきている。また、医療機関においては患者数の増加により、札幌市を中心に病床がひっ迫しており調整が困難になるなど、厳しい状況となっている。
- ②東京都 都内全域に感染が拡大。感染経路が分かっている中では、家庭内感染が最も多く、職場、高齢者施設等、会食と続いているが、感染経路不明割合も半数以上となっている。社会経済活動が活発化し、若年層を中心に感染拡大のリスクを高める機会が増加、大学等も含め感染の場面が多岐にわたっている可能性。
- ③大阪府 府内全域に感染が拡大。感染経路不明割合は約6割。歓楽街の関係者・滞在者や、家庭内、事業所等様々な場面で感染が確認される事例が発生。高齢者施設、医療機関、学校等でクラスターが発生。
- ④愛知県 県内全域に感染が拡大。感染経路不明割合は約4割。名古屋市で、歓楽街を中心に感染者が増加し、保健センターの負荷が大きくなっている。感染者の年齢や感染が生じた場は多様化しており、高齢者施設等、大学の課外活動に関連した発生も認めている。また、医療機関での対応も厳しさが増している。名古屋市以外についてもクラスターが多様化し、外国人コミュニティ、大学、高齢者施設で散発。

北海道の一部の地域では、接触機会の削減・行動制限などの強い対策が求められる状況であると考えられる。東京、大阪、愛知においては、こうした強い対策が求められる状態に近づきつつある。

# 直近の感染状況等

## ○新規感染者数の動向(対人口10万人(人))

	10/31~11/6	11/7~11/13	11/14~11/20
全国	4.45人(5,614人) ↑	7.26人(9,158人) ↑	10.12人(12,772人) ↑
東京	9.05人(1,260人) ↑	14.49人(2,017人) ↑	18.92人(2,634人) ↑
神奈川	5.28人( 486人) ↑	8.41人( 774人) ↑	11.89人(1,094人) ↑
愛知	6.46人( 488人) ↑	10.26人( 775人) ↑	13.47人(1,017人) ↑
大阪	9.93人( 875人) ↑	15.73人(1,386人) ↑	21.27人(1,874人) ↑
北海道	11.92人( 626人) ↑	26.17人(1,374人) ↑	31.03人(1,629人) ↑
福岡	1.02人( 52人) ↑	1.80人( 92人) ↑	2.29人( 117人) ↑
沖縄	10.60人( 154人) ↓	14.66人( 213人) ↑	17.83人( 259人) ↑

## ○検査体制の動向(検査数、陽性者割合)

	10/26~11/1	11/2~11/8	11/9~11/15
全国	138,332件 ↑ 3.5% ↑	146,467件 ↑ 4.4% ↑	182,720件 ↑ 5.5% ↑
東京	35,496件 ↑ 3.3% ↑	35,724件 ↑ 4.0% ↑	45,644件 ↑ 4.7% ↑
神奈川	12,069件 ↓ 3.4% ↑	15,348件 ↑ 3.7% ↑	15,998件 ↑ 5.1% ↑
愛知	5,532件 ↑ 7.3% ↑	7,246件 ↑ 7.4% ↑	8,851件 ↑ 9.4% ↑
大阪	11,049件 ↑ 7.5% ↑	10,821件 ↓ 8.7% ↑	16,483件 ↑ 9.7% ↑
北海道	5,878件 ↓ 6.8% ↑	7,653件 ↑ 10.7% ↑	8,449件 ↑ 17.4% ↑
福岡	5,825件 ↑ 0.8% →	4,458件 ↓ 1.1% ↑	7,057件 ↑ 1.4% ↑
沖縄	3,756件 ↑ 5.2% ↓	2,986件 ↓ 5.3% ↑	3,756件 ↑ 6.0% ↑

## ○入院患者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

	11/4	11/11	11/18
全国	3,592人(13.4%) ↑	4,517人(16.8%) ↑	5,951人(22.1%) ↑
東京	1,042人(26.1%) ↑	1,070人(26.8%) ↑	1,312人(32.8%) ↑
神奈川	245人(12.6%) ↓	329人(17.0%) ↑	410人(21.1%) ↑
愛知	148人(17.2%) ↑	200人(23.3%) ↑	286人(33.3%) ↑
大阪	366人(26.6%) ↑	462人(33.2%) ↑	571人(40.6%) ↑
北海道	215人(11.9%) ↑	434人(24.0%) ↑	693人(38.3%) ↑
福岡	39人(7.1%) ↓	53人(9.6%) ↑	47人(8.5%) ↓
沖縄	187人(43.1%) ↓	155人(35.7%) ↓	153人(35.3%) ↓

## ○重症者数の動向(入院者数(対受入確保病床数))

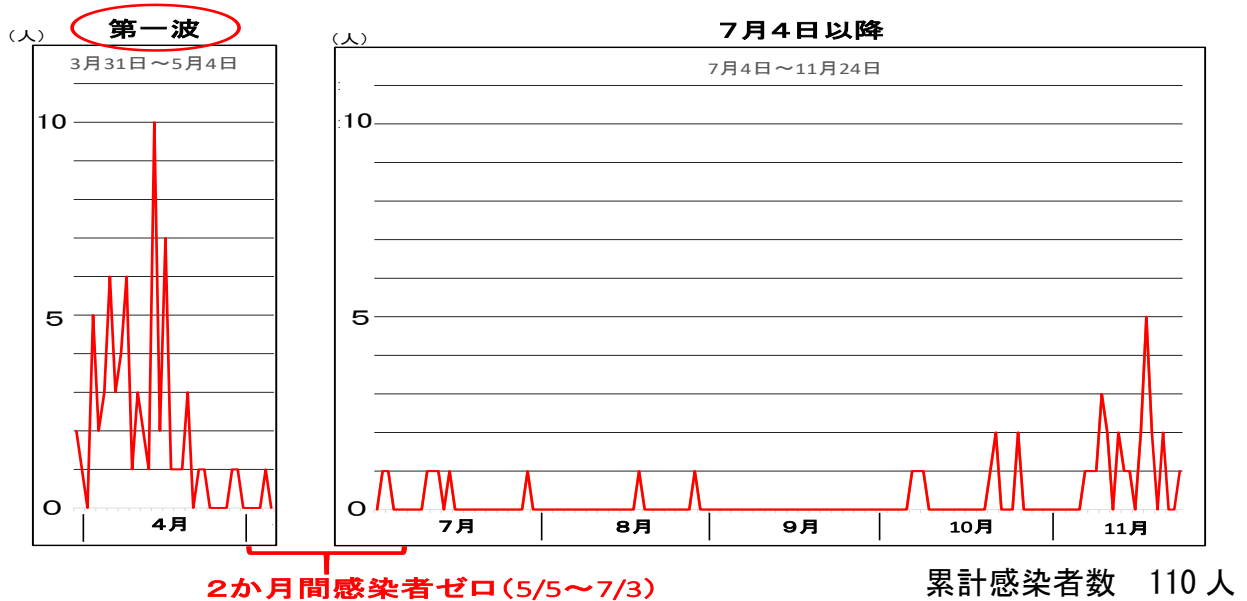
	11/4	11/11	11/18
全国	319人(9.2%) ↑	388人(11.2%) ↑	483人(13.9%) ↑
東京	128人(25.6%) ↑	154人(30.8%) ↑	187人(37.4%) ↑
神奈川	24人(12.0%) →	23人(11.5%) ↓	35人(17.5%) ↑
愛知	11人(15.7%) ↑	15人(21.4%) ↑	15人(21.4%) →
大阪	50人(14.1%) ↑	91人(25.6%) ↑	103人(28.1%) ↑
北海道	6人(3.3%) ↑	11人(6.0%) ↑	20人(11.0%) ↑
福岡	4人(4.4%) →	4人(4.4%) →	3人(3.3%) ↓
沖縄	19人(35.8%) ↓	14人(26.4%) ↓	14人(26.4%) →

※ 「入院患者数の動向」は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査」による。この調査では、記載日の0時時点で調査・公表している。  
重症者数については、8月14日公表分以前とは対象者の基準が異なる。↑は前週と比べ増加、↓は減少、→は同水準を意味する。

令和 2 年 11 月 25 日

## 県内における新型コロナウイルス感染症の現状

### 1 感染者の推移



### 2 入院患者数 (11月25日10時現在)

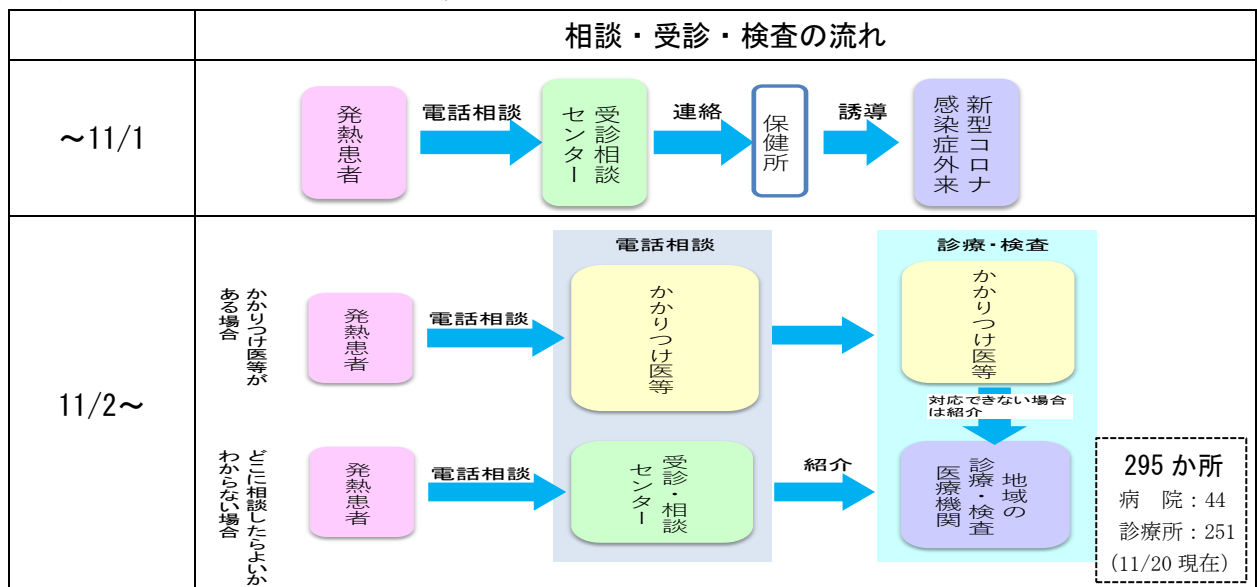
病院名	県立中央病院	山形大学附属病院	県立新庄病院	公立置賜総合病院	日本海総合病院	その他	合計
病床数 (うち重症者病床数)	39 (8)	27 (6)	7 (0)	34 (4)	41 (8)	68 (0)	216 (26)
現在の入院患者数 (うち重症者数)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (0)	0 (0)	17 (0)
病床占有率	17.9%	0.0%	0.0%	2.9%	22.0%	0.0%	7.9%

### 3 軽症患者等受入れのための宿泊施設

村山地域：1ヶ所 108室（※庄内地域は、現在、確保に向けて調整中）

### 4 発熱患者等の診療・検査体制

季節性インフルエンザの流行期における多数の発熱患者の発生に備え、身近な地域における、発熱患者の相談・診療・検査体制を整備



## 県内における新型コロナウイルス感染者の確認事例について（10月以降）

（R2. 11. 24時点）

事例	発生届日	年代	性別	居住地	備考
79	R2. 10. 7	20代	男性	山形市	県外滞在歴あり
80	R2. 10. 8	60代	女性	山形市	事例79関連
81	R2. 10. 9	40代	男性	米沢市	県外勤務あり
82	R2. 10. 21	40代	男性	天童市	県外滞在歴あり
83	R2. 10. 22	10代	男性	天童市	事例82関連
84	R2. 10. 22	70代	女性	天童市	事例82関連
85	R2. 10. 26	80代	男性	天童市	事例82関連
86	R2. 10. 26	40代	女性	天童市	事例82関連
87	R2. 11. 7	30代	男性	山形市	県外滞在歴あり
88	R2. 11. 8	30代	女性	山形市	事例87関連
89	R2. 11. 9	10歳未満	男性	山形市	事例87関連
90	R2. 11. 10	30代	男性	山形市	事例87関連
91	R2. 11. 10	30代	男性	山形市	事例87関連
92	R2. 11. 10	20代	女性	山形市	事例87関連
93	R2. 11. 11	60代	男性	天童市	事例87関連
94	R2. 11. 11	30代	女性	村山市	事例87関連
95	R2. 11. 13	20代	女性	県外	(感染拡大地域より来県)
96	R2. 11. 13	10歳未満	女性	山形市	事例91関連
97	R2. 11. 14	50代	男性	白鷹町	事例93関連
98	R2. 11. 15	50代	男性	県外	(感染拡大地域より来県)
99	R2. 11. 17	40代	男性	米沢市	県外滞在歴あり
100	R2. 11. 17	50代	女性	山形市	
101	R2. 11. 18	40代	女性	酒田市	県外届出例関連
102	R2. 11. 18	40代	男性	鶴岡市	県外届出例関連
103	R2. 11. 18	30代	男性	鶴岡市	県外届出例関連
104	R2. 11. 18	40代	女性	山形市	県外で家族陽性
105	R2. 11. 18	10代	男性	山形市	事例100関連
106	R2. 11. 19	40代	女性	鶴岡市	事例102関連
107	R2. 11. 19	30代	女性	鶴岡市	事例103関連
108	R2. 11. 21	50代	女性	酒田市	
109	R2. 11. 21	10代	女性	酒田市	事例108関連
110	R2. 11. 24	50代	男性	酒田市	

各種指標の状況（11月25日現在）

《県注意・警戒レベル》	
感染経路不明者数	2人/週
重症入院患者数	0人
1週間あたりの新規感染者数	10人/週
60歳以上の入院患者数	1人

《政府のステージⅢ指標》	（山形県）	（政府指標）
① 病床のひっ迫具合		
（病床全体）		
最大確保病床の占有率	7.9%	20%以上
現時点の確保病床数の占有率	7.9%	25%以上
（重症者用病床）		
最大確保病床の占有率	0%	20%以上
現時点の確保病床数の占有率	0%	25%以上
②療養者数（人口10万人あたり）	1.58人	15人以上
③PCR陽性率（11月15日時点）	2.0%	10%
④新規報告者数（人口10万人あたり）	0.93人/週	15人/週
⑤直近1週間と先週1週間の比較	先週より多い	先週より多い
⑥感染経路不明割合	20.0%	50%

## 厚生労働省公表資料（11月17日時点）

（参考）都道府県の医療提供体制等の状況①（医療提供体制）

		【 医療提供体制 】					
A	B	C		D		E	F
	人口	①病床のひっ迫具合				②療養者数	
		全入院者		重症患者			
時点	2019.10	11/17	11/17	11/17	11/17	11/17	
単位	千人	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	% (前週差)	対人口10万人 (前週差)	
ステージⅢの指標		25%	20%	25%	20%	15	
ステージⅣの指標			50%		50%	25	
北海道	5,250	38.3% (+14.3)	38.3% (+14.3)	11.0% (+4.9)	11.0% (+4.9)	36.2 (+14.2)	
青森県	1,246	14.4% (▲10.4)	12.9% (▲9.3)	6.5% (+0.0)	6.5% (▲0.2)	2.5 (▲2.2)	
岩手県	1,227	9.4% (+7.5)	9.4% (+7.4)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	4.6 (+4.1)	
宮城県	2,306	19.7% (+0.9)	15.1% (+0.7)	11.6% (▲2.3)	7.7% (▲1.5)	8.2 (+0.3)	
秋田県	966	3.2% (+0.5)	3.0% (+0.4)	4.5% (+0.0)	3.7% (+0.0)	0.8 (+0.1)	
山形県	1,078	6.0% (+1.4)	6.0% (+1.4)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.3 (+0.4)	
福島県	1,846	9.6% (+2.3)	9.6% (▲0.1)	11.9% (+4.8)	10.0% (+4.0)	2.4 (+0.4)	
茨城県	2,860	13.0% (+7.5)	13.0% (+7.0)	4.2% (+2.8)	4.2% (+2.7)	7.9 (+5.6)	
栃木県	1,934	11.2% (+4.2)	11.2% (+4.2)	9.8% (+0.0)	9.8% (+0.0)	1.8 (+0.7)	
群馬県	1,942	9.2% (+1.9)	8.8% (+1.8)	8.7% (+0.0)	4.0% (+0.0)	2.4 (+0.4)	
埼玉県	7,350	37.2% (+8.4)	32.7% (+7.9)	11.7% (+5.5)	7.5% (+3.5)	11.2 (+2.9)	
千葉県	6,259	22.1% (+5.8)	21.2% (+5.5)	7.9% (+2.0)	4.4% (+1.1)	9.9 (+3.3)	
東京都	13,921	32.8% (+6.1)	32.8% (+6.1)	37.4% (+6.6)	37.4% (+6.6)	19.8 (+4.4)	
神奈川県	9,198	21.1% (+4.2)	21.1% (+4.2)	17.5% (+6.0)	17.5% (+6.0)	11.2 (+4.0)	
新潟県	2,223	15.1% (+11.2)	15.1% (+11.2)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	3.2 (+2.4)	
富山県	1,044	1.0% (+0.6)	1.0% (+0.6)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.5 (+0.3)	
石川県	1,138	2.3% (▲3.9)	2.3% (▲4.0)	0.0% (▲2.9)	0.0% (▲2.9)	0.6 (▲0.8)	
福井県	768	8.8% (+4.2)	8.8% (+4.2)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	2.5 (+1.2)	
山梨県	811	18.2% (+7.4)	18.2% (+5.8)	8.3% (+4.2)	8.3% (+4.2)	7.2 (+3.2)	
長野県	2,049	20.3% (+6.6)	20.3% (+6.6)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	5.7 (+3.2)	
岐阜県	1,987	16.5% (+2.4)	16.5% (+2.4)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	5.4 (+1.0)	
静岡県	3,644	21.1% (+0.8)	18.7% (+1.3)	5.9% (+5.9)	3.0% (+3.0)	4.7 (+1.9)	
愛知県	7,552	33.3% (+10.0)	33.3% (+9.4)	21.4% (+0.0)	12.4% (+0.0)	15.7 (+4.7)	
三重県	1,781	11.7% (+0.0)	11.7% (+0.0)	9.4% (+3.8)	9.4% (+3.8)	2.5 (+0.2)	
滋賀県	1,414	11.2% (+0.7)	10.7% (+0.7)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	6.0 (+0.7)	
京都府	2,583	18.6% (+4.9)	14.1% (+3.7)	22.1% (+7.0)	22.1% (+7.0)	7.4 (+2.6)	
大阪府	8,809	40.6% (+7.4)	35.4% (+6.7)	28.1% (+2.5)	28.1% (▲14.2)	22.2 (+7.1)	
兵庫県	5,466	44.3% (+10.6)	44.3% (+9.5)	15.5% (+0.0)	14.2% (+0.0)	8.4 (+3.3)	
奈良県	1,330	28.5% (+7.9)	26.6% (+7.4)	11.1% (+7.4)	11.1% (+7.1)	11.6 (+3.5)	
和歌山県	925	13.0% (+7.8)	13.0% (+7.8)	2.5% (+2.5)	2.5% (+2.5)	5.6 (+3.4)	
鳥取県	556	3.5% (+0.0)	3.5% (▲0.2)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	2.0 (+0.0)	
島根県	674	0.4% (+0.4)	0.4% (+0.4)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.1 (+0.1)	
岡山県	1,890	26.3% (+2.8)	26.3% (▲0.1)	8.1% (+5.4)	7.5% (+5.0)	5.8 (+1.5)	
広島県	2,804	5.8% (+1.8)	5.8% (+1.4)	1.4% (+0.0)	1.4% (▲0.0)	1.3 (+0.5)	
山口県	1,358	13.0% (+8.7)	13.0% (+8.7)	2.2% (+1.5)	2.2% (+1.5)	4.3 (+2.9)	
徳島県	728	3.0% (+0.0)	3.0% (+0.0)	8.0% (+8.0)	8.0% (+8.0)	0.8 (+0.0)	
香川県	956	7.7% (+4.6)	7.7% (+4.6)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.8 (+1.2)	
愛媛県	1,339	11.8% (+9.6)	11.8% (+9.5)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	2.0 (+1.6)	
高知県	698	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.0 (+0.0)	
福岡県	5,104	8.5% (▲1.1)	6.2% (▲0.8)	3.3% (▲1.1)	2.7% (▲0.9)	1.9 (▲0.0)	
佐賀県	815	2.2% (▲1.5)	2.2% (▲1.5)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.3 (▲0.9)	
長崎県	1,327	1.3% (+0.3)	1.3% (+0.3)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	0.6 (+0.2)	
熊本県	1,748	17.0% (+5.5)	17.0% (+5.5)	5.1% (+0.0)	5.1% (+0.0)	5.0 (+1.8)	
大分県	1,135	5.5% (+4.8)	5.5% (+4.8)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	1.6 (+1.4)	
宮崎県	1,073	1.6% (+0.4)	1.6% (+0.4)	0.0% (▲3.0)	0.0% (▲3.0)	1.2 (+0.9)	
鹿児島県	1,602	7.9% (▲2.3)	7.9% (▲3.8)	0.0% (+0.0)	0.0% (+0.0)	2.1 (▲2.1)	
沖縄県	1,453	35.3% (▲0.4)	35.3% (▲1.1)	26.4% (+0.0)	26.4% (▲1.0)	22.2 (+3.8)	
全国	126,167	22.1% (+5.3)	21.5% (+5.2)	13.9% (+2.7)	13.1% (+2.6)	10.6 (+3.3)	

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比－総人口、日本人人口（2019年10月1日現在）

※：確保病床利用率、確保想定病床利用率、療養者数は、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」による。

※：確保想定病床利用率は、同調査における「最終フェーズにおける即応病床（計画）数」を用いて計算している。同調査では、記載日の翌日 00:00時点として取りまとめている。

※：重症者数は、集中治療室（ICU）等での管理、人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な患者数。

※：東京都、滋賀県、京都府、福岡県及び沖縄県の重症者数については、これまで都府県独自の基準に則って報告された数値を掲載していたが、

8/21公表分からは、国の基準に則って、集中治療室（ICU）等での管理が必要な患者も含めた数値が報告されている。

※：確保病床数が確保想定病床数を超過する場合には、確保想定病床数は確保病床数と同数として計算している。



(参考) 都道府県の医療提供体制等の状況② (監視体制・感染の状況)

		【監視体制】		【感染の状況】	
A	G	H	I	J	
	人口	③陽性者数/ PCR検査件数 (最近1週間)	④直近1週間の陽性者数	⑤直近1週間 とその前1週間の比	⑥感染経路 不明な者の 割合
時点	2019.10	~11/15(1W)	~11/19(1W)		~11/13(1W)
単位	千人	%(前週差)	対人口10万人 (前週差)	(前週差)	%(前週差)
ステージⅢの指標		10%	15	1	50%
ステージⅣの指標		10%	25	1	50%
北海道	5,250	17.4% (+6.8)	29.71 (+5.8)	1.24 (▲0.92)	38.9% (▲14.5)
青森県	1,246	0.6% (▲3.1)	0.40 (▲0.5)	0.45 (+0.22)	0.0% (▲6.4)
岩手県	1,227	3.7% (+2.7)	4.48 (+3.4)	4.23 (▲2.27)	23.5% (▲76.5)
宮城県	2,306	4.5% (▲1.2)	5.12 (▲0.2)	0.97 (+0.05)	33.1% (+14.0)
秋田県	966	1.5% (+0.3)	0.41 (+0.1)	1.33 (+0.83)	0.0% (▲20.0)
山形県	1,078	2.0% (+1.5)	0.74 (+0.0)	1.00 -	0.0% -
福島県	1,846	0.7% (▲0.2)	2.00 (+1.4)	3.08 (+2.54)	52.6% (+26.0)
茨城県	2,860	3.0% (+1.8)	7.66 (+4.5)	2.41 (▲0.44)	47.3% (+16.0)
栃木県	1,934	1.0% (+0.4)	1.81 (+1.1)	2.69 (+1.39)	50.0% (+12.5)
群馬県	1,942	2.1% (+0.8)	2.68 (+1.2)	1.79 (+0.53)	45.5% (▲12.9)
埼玉県	7,350	4.5% (+0.7)	9.20 (+1.9)	1.26 (▲0.86)	39.2% (+2.0)
千葉県	6,259	5.7% (+0.9)	8.56 (+2.7)	1.46 (▲0.04)	47.7% (+2.5)
東京都	13,921	4.7% (+0.7)	17.86 (+4.3)	1.32 (▲0.22)	55.8% (▲0.2)
神奈川県	9,198	5.1% (+1.4)	11.22 (+3.3)	1.41 (▲0.25)	49.5% (+3.0)
新潟県	2,223	1.9% (+0.3)	2.34 (+0.7)	1.41 (▲10.93)	5.3% (▲44.7)
富山県	1,044	0.7% (+0.6)	0.96 (+0.7)	3.33 (+0.33)	100.0% (+0.0)
石川県	1,138	0.6% (▲0.3)	0.35 (▲0.7)	0.33 (▲0.67)	33.3% (▲11.1)
福井県	768	0.9% (+0.4)	3.39 (+1.8)	2.17 (▲9.83)	0.0% (+0.0)
山梨県	811	1.6% (+0.7)	2.84 (▲3.3)	0.46 (▲3.39)	19.2% (▲16.1)
長野県	2,049	5.3% (+2.6)	6.78 (+4.1)	2.48 (▲2.18)	14.3% (▲10.7)
岐阜県	1,987	4.3% (▲1.0)	4.53 (+0.8)	1.20 (▲1.07)	32.4% (+11.0)
静岡県	3,644	4.2% (+1.1)	6.89 (+3.7)	2.16 (+0.02)	23.3% (▲5.8)
愛知県	7,552	9.4% (+2.0)	12.75 (+3.4)	1.36 (▲0.19)	43.5% (+3.5)
三重県	1,781	2.2% (▲1.7)	3.37 (+1.6)	1.94 (+0.30)	17.4% (+13.2)
滋賀県	1,414	7.3% (▲3.9)	4.46 (+0.1)	1.02 (▲0.62)	17.0% (▲17.8)
京都府	2,583	3.9% (+0.0)	7.24 (+2.6)	1.55 (+0.15)	42.7% (+3.3)
大阪府	8,809	9.7% (+1.1)	20.07 (+5.4)	1.37 (▲0.16)	62.1% (+11.2)
兵庫県	5,466	9.9% (+3.6)	11.14 (+4.9)	1.78 (+0.11)	66.2% (+12.6)
奈良県	1,330	6.1% (▲0.7)	10.30 (+3.2)	1.46 (▲0.11)	35.4% (+7.0)
和歌山県	925	4.2% (+1.4)	6.27 (+3.7)	2.42 (▲1.01)	17.1% (▲2.9)
鳥取県	556	1.8% (+0.7)	0.36 (▲2.0)	0.15 -	30.0% (▲45.0)
島根県	674	0.0% (+0.0)	0.15 (+0.1)	-	-
岡山県	1,890	2.1% (+0.4)	4.81 (+2.8)	2.33 (+1.61)	45.3% (+12.7)
広島県	2,804	1.8% (+0.5)	1.43 (+0.8)	2.35 (+0.23)	45.0% (▲5.0)
山口県	1,358	3.0% (▲0.8)	5.08 (+4.3)	6.27 (+5.17)	0.0% -
徳島県	728	2.9% (+1.0)	0.69 (▲0.1)	0.83 -	25.0% (+25.0)
香川県	956	1.3% (+0.3)	1.57 (+0.6)	1.67 (▲2.83)	44.4% (+44.4)
愛媛県	1,339	6.7% (+4.8)	2.39 (+2.0)	6.40 -	16.7% (+16.7)
高知県	698	0.0% (+0.0)	0.00 (+0.0)	-	-
福岡県	5,104	1.4% (+0.3)	1.92 (+0.1)	1.05 (▲1.01)	33.7% (▲15.3)
佐賀県	815	2.4% (▲0.5)	1.72 (+0.5)	1.40 (+0.57)	0.0% (▲7.7)
長崎県	1,327	0.2% (▲0.3)	0.38 (+0.2)	1.67 (+0.17)	100.0% (+50.0)
熊本県	1,748	4.4% (+2.7)	3.83 (+1.5)	1.63 (+0.81)	37.5% (+11.0)
大分県	1,135	0.5% (▲0.1)	2.91 (+2.6)	8.25 -	66.7% (+66.7)
宮崎県	1,073	0.0% (▲2.3)	1.40 (+1.3)	15.00 (+14.80)	100.0% (+100.0)
鹿児島県	1,602	1.8% (▲1.9)	2.31 (▲0.4)	0.86 (▲0.30)	17.1% (+15.1)
沖縄県	1,453	6.0% (+0.7)	18.44 (+5.7)	1.45 (+0.29)	53.2% (+3.8)
全国	126,167	5.5% (+1.2)	9.55 (+2.7)	1.40 (▲0.23)	47.8% (+1.1)

※：人口推計 第4表 都道府県、男女別人口及び人口性比—総人口、日本人人口 (2019年10月1日現在)

※：陽性者数は、感染経路に基づき陽性者数の累積 (各都道府県の発表日ベース) を記載。自治体に確認を得ていない暫定値であることに留意。

※：PCR検査件数は、厚生労働省において把握した、地方衛生研究所・保健所、民間検査会社、大学等及び医療機関における検査件数の合計値。

※：各数値は、資料掲載時点において把握している最新の値としている。掲載時に数値が更新されることにより、前週差が前週公表の値との差と一致しない場合がある。

※：⑤と⑥について、分母が0の場合は、「-」と記載している。

◆ 県注意・警戒レベルと政府が示す4段階のステージ ◆

山形県における新型コロナ対応の目安  
〔注意・警戒レベル〕

今後の感染状況の変化に対応した対策の実施に関する指標及び目安  
(令和2年8月7日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言)

	状態	参考とする指標等	対応検討策
<b>レベル1</b>	県内では確認されていないが、国内で感染者が確認されている状態	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民は「新・生活様式」の実践を心がける</li> <li>事業者は、業種別の感染拡大予防ガイドラインに取り組み</li> <li>○感染が増加している地域への移動はできるだけ控えるよう、県民に呼びかけ</li> <li>なお、必要があって移動する場合は、移動先での「新・生活様式」を徹底するよう、呼びかけ</li> </ul>
<b>レベル2</b> 〔注意〕	県内での感染者の確認が限定的な状態	【1週間あたりの新規感染者数】 1人/週 以上	レベル1に加え、 <ul style="list-style-type: none"> <li>○「新・生活様式」の実践及び業種別感染拡大予防ガイドラインの徹底を県民と事業者に呼びかけ</li> <li>○発熱等の症状がある方への早期受診相談の呼びかけ</li> <li>○業界団体に対し、ガイドライン実践の自主点検を依頼</li> </ul>
<b>レベル3</b> 〔警戒〕	感染の広がりが増え懸念される状態	【感染経路不明者数】 1人/週 以上 かつ 【重症入院患者数】 1人以上  以下の指標も参酌する。 【1週間あたりの新規感染者数】 【60歳以上の入院患者数】	レベル2に加え、 <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染発生状況や特徴に応じた注意喚起や感染防止対策の徹底を協力依頼</li> <li>〔例：高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い方に対し、より慎重な行動を呼びかけ ：感染が発生した施設と同様の業態の業界団体及び事業者に対し、ガイドライン遵守の徹底を依頼 など〕</li> </ul>
<b>レベル4</b> 〔特別警戒〕	感染が拡大傾向にある状態	【感染経路不明者数】 2人/週 以上 かつ 【重症入院患者数】 3人以上  以下の指標も参酌する。 【1週間あたりの新規感染者数】 【60歳以上の入院患者数】	レベル3に加え、 <ul style="list-style-type: none"> <li>○感染発生状況や特徴に応じた行動を協力依頼</li> <li>〔例：ガイドライン実践施設の利用を呼びかけ ：実践していない施設の利用を控えるよう呼びかけ〕</li> </ul>
<b>レベル5</b> 〔非常事態〕	感染が拡大し、医療提供体制のひっ迫が懸念される状態	医療現場のひっ迫状況を踏まえて判断  以下の指標も参酌する。 【重症入院患者数】 【1週間あたりの新規感染者数】 【60歳以上の入院患者数】	○県独自の非常事態宣言の発出 ○新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づき次の事項を協力要請 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不要不急の外出自粛</li> <li>・ガイドラインを実践しない施設の利用自粛</li> <li>・ガイドラインを実践しない施設の営業自粛(休業)</li> </ul>

- ◆ 各レベルの適用にあたっては、上記内容に加え、県内における感染の具体的な状況（地域分布、クラスター発生状況等）や、首都圏や近隣県の感染状況なども踏まえ、全体的に判断する。
- ◆ なお、感染状況によっては、地域を特定した対応策を検討する。
- ◆ この目安は、新型コロナに関する今後の状況変化に応じて随時見直すこととする。

	状態	指標及び目安	講ずべき施策
<b>ステージI</b>	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階		○ <b>対事業者</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインを適宜見直し、遵守を徹底。遵守が不十分な場合の休業要請も考慮。（基本的な感染予防の徹底（3密回避等））</li> <li>・COCOA 及び地域ごとの対策アプリの更なる周知及び普及促進の更なる強化。</li> <li>・リスクの高い場所への積極的な介入・指導の継続強化（検査の強い要請など、クラスターが発生した店舗等への対策強化）。</li> <li>・テレワーク等の更なる推進。</li> </ul> ○ <b>対個人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COCOA 及び地域ごとの対策アプリの普及促進</li> <li>・3密回避を遵守した「新しい生活様式」の徹底に向けた注意喚起（基本的な感染予防の徹底）</li> <li>・ターゲット毎に適切なメディアを通じた分かりやすいメッセージの発信。</li> </ul>
<b>ステージII</b>	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる。このため、保健所などの公衆衛生体制の負荷も増大するとともに、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、医療提供体制への負荷が蓄積しつつある。	重症化しやすい人（高齢者など）：3密の徹底的な回避、安全な活動については推奨。 中年：職場での感染予防徹底、宴会等の自粛。 若者：クラブ活動等における感染予防徹底、宴会等の自粛。 医療従事者・介護労働者：リスクの高い場所に行かない。
<b>ステージIII</b>	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	ステージIIと比べてクラスターが広範囲に多発する等、感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。 (1)医療提供体制等の負荷 ①病床のひっ迫具合 病床全体 ・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上 うち重症者用病床 ・最大確保病床の占有率 1/5 以上 ・現時点の確保病床数の占有率 1/4 以上 ②療養者数 人口10万人当たりの全療養者数15人以上 ※全療養者：入院者、自宅・宿泊療養者等を合わせた数 (2)監視体制 ③PCR陽性率 10% (3)感染の状況 ④新規報告数 15人/10万人/週以上 ⑤直近一週間と先週一週間の比較 直近一週間が先週一週間より多い。 ⑥感染経路不明割合 50%	ステージI・IIの施策に加えて、                     ○ <b>対事業者</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインを遵守していない酒類の提供を行う飲食店の休業要請等。</li> <li>・イベント開催の見直し。</li> <li>・人が集中する観光地の施設等における入場制限等。</li> <li>・接触確認アプリの導入をイベントや企画旅行等の実施に当たって要件化。</li> <li>・飲食店における人数制限。</li> </ul> ○ <b>対個人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の要請。</li> <li>・若年者の団体旅行など感染予防を徹底できない場合等における、感染が拡大している地域との県境を越えた移動自粛の徹底。</li> </ul>
<b>ステージIV</b>	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階	病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が発生し、爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。 (1)医療提供体制等の負荷 ①病床のひっ迫具合 病床全体 ・最大確保病床の占有率 1/2 以上 うち重症者用病床 ・最大確保病床の占有率 1/2 以上 ②療養者数 人口10万人当たりの全療養者数25人以上 (2)監視体制 ③PCR陽性率 10% (3)感染の状況 ④新規報告数 25人/10万人/週以上 ⑤直近一週間と先週一週間の比較 直近一週間が先週一週間より多い。 ⑥感染経路不明割合 50%	緊急事態宣言など、強制性のある対応の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・接触機会の低減を目指した外出自粛の要請。</li> <li>・県境を越えた移動の自粛要請。</li> <li>・感染リスクやガイドラインの遵守状況等を考慮しつつ、生活必需品等を取り扱う事業者等を除き施設の使用制限。</li> <li>・人が集中する観光地の施設や公共施設の人数制限や閉鎖等。</li> <li>・イベントは原則、開催自粛。集会における人数制限。</li> <li>・生活圏での感染があれば学校の休校等も検討。</li> <li>・テレワーク等の強力な推進をはじめ職場への出勤をできる限り回避。</li> </ul>

(ステージの判断に当たっての考慮要素)

- 提案する指標は「あくまで目安」であり、また、一つひとつの指標をもって機械的に判断するのではなく、国や都道府県はこれらの指標を「総合的に判断」して、感染の状況に応じ積極的かつ機動的に対策を講ずる。
- その際、都市部と地方部では医療提供体制をはじめ様々な環境が異なるため、「新規報告数が多い都市部」においては「医療提供体制に関する指標」をより重視し、「地方部」においては「感染の状況に関する指標」を重視するなど、地域の実情に応じて判断することが必要である。また、「医療提供体制が脆弱な地方部」においては、これらの指標に満たない段階で、積極的に対策を講じる必要がある。

## Go To Eatキャンペーンの運用について

## 政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言（抜粋）

- Go To Eat事業については、プレミアム付食事券の新規発行の一時停止及び既に発行された食事券やオンライン飲食予約サイトで付与されたポイントの利用を控える旨の利用者への呼びかけについて、都道府県知事に各地域の感染状況等を踏まえた検討を要請していただきたい。

## 政府（農林水産省）から都道府県への検討依頼（11月24日）

## 〔検討依頼内容〕

都道府県における感染状況を踏まえて、

- 食事券の発行・販売を一時停止するか否か
- 既に発行・販売された食事券や付与されたポイントの利用を控える旨を呼びかけるか否か

※都道府県において上記対応が必要と判断した場合、事業者に対して、農林水産省から対応を依頼

※回答期限：11月27日（金）10時

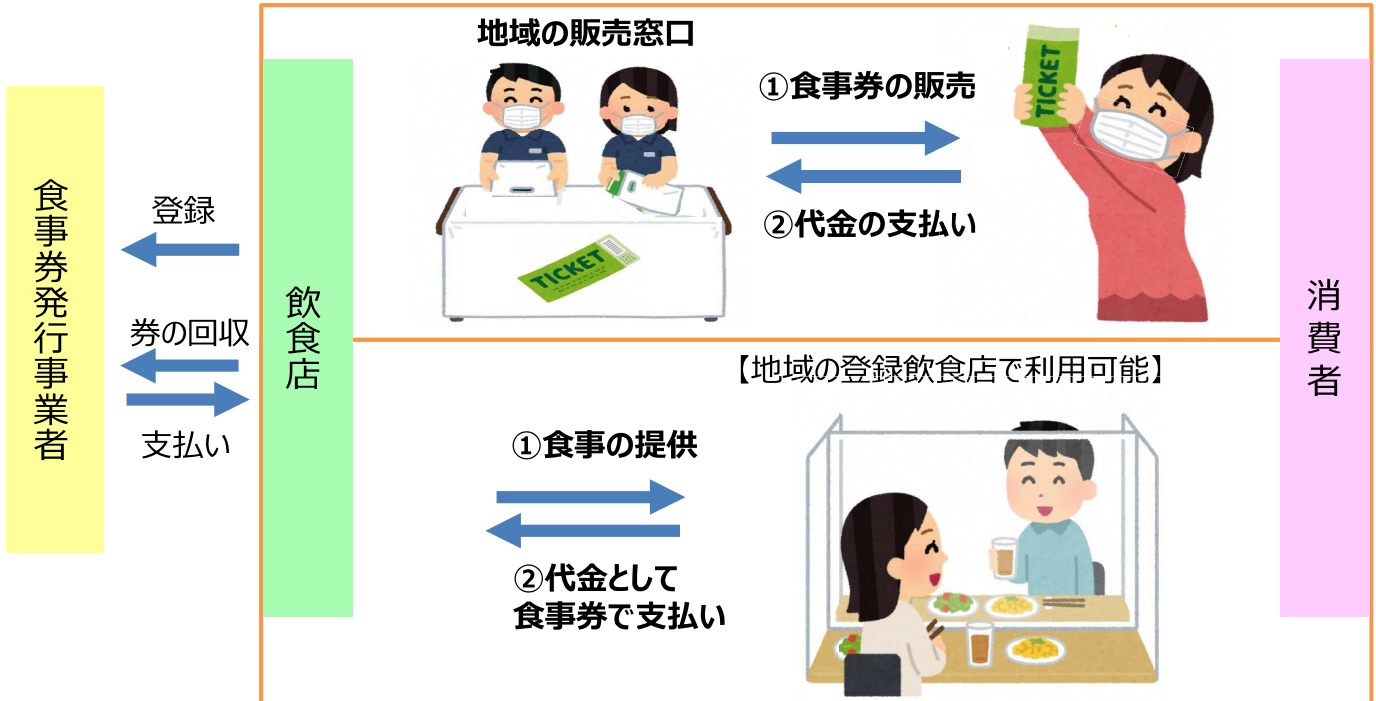
## 【回答案】

- ◎ 本県の現在の感染状況は、各指標の水準が全国の中で比較的低位にあり、飲食店でのクラスター発生も認められていない。そのため、現時点では、「食事券の発行・販売の一時停止」や「付与されたポイントの利用を控える旨の呼びかけ」が必要な状況にはないと考える旨、農林水産省に回答したい。

本県としては、引き続き、県民や飲食店等に対し、少人数又は短時間での会食など感染リスクを下げる工夫や業種別の感染拡大予防ガイドラインの遵守を呼びかけることとし、食事券の発行・販売の一時停止等の最終的な判断や万一事業者や利用者に損害が発生した場合の対応は、Go To Eat事業の実施主体である農林水産省に求めていく。

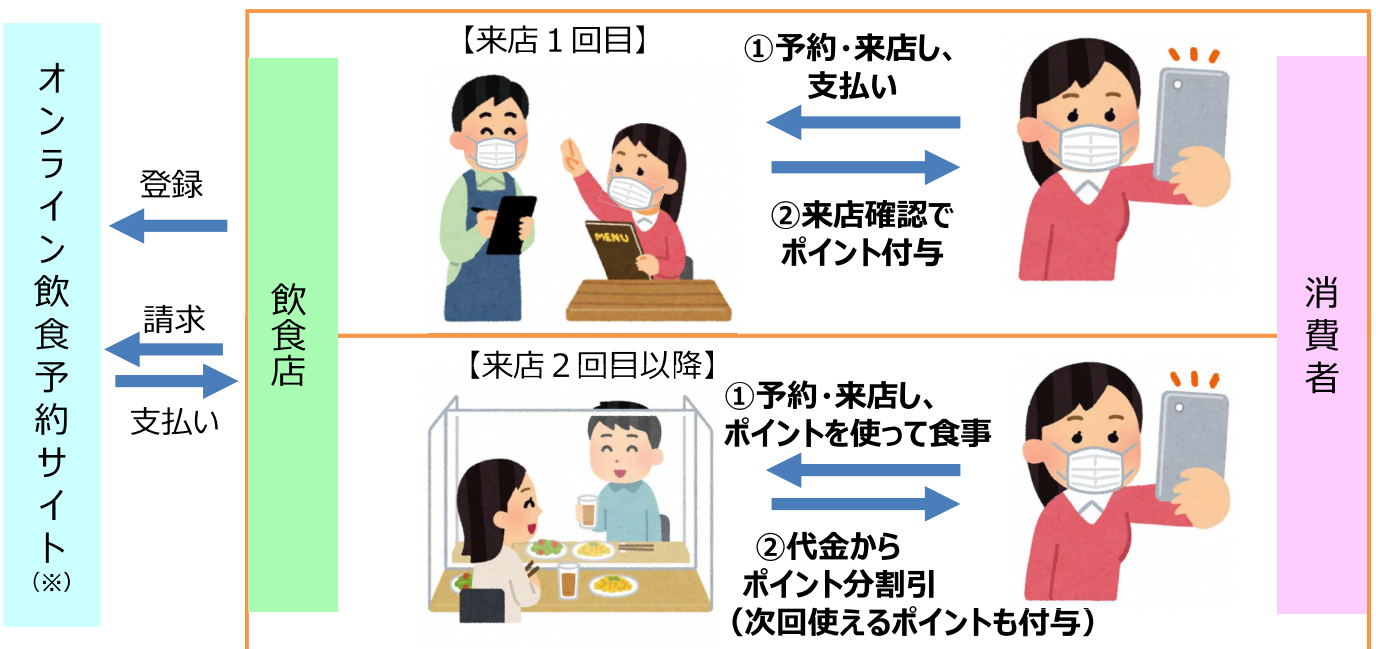
## 食事券 (給付金767億円) ※山形県11月26日(木)～

- 登録飲食店で使えるプレミアム付食事券 (購入額の25%分を上乗せ)
  - ◆ **地域の飲食店で使える食事券 (例: 1セット1万2,500円を1万円で購入)** の発行事業者を都道府県、政令指定都市及び特別区単位で公募
  - ◆ **購入制限: 1回の購入当たり2万円分** (上記の例では2セット/人まで)
  - ◆ おつりは出ない ◆ 販売は2021年1月末まで、有効期限は3月末まで



## オンライン飲食予約 (給付金767億円)

- オンライン飲食予約サイト経由で、期間中に飲食店を予約・来店した消費者に対し、次回以降に飲食店で使用できるポイントを付与
  - ◆ **昼食時間帯は500円分、夕食時間帯 (15:00～) は1,000円分のポイントを付与**
  - ◆ ポイント付与の上限は、**1回の予約当たり10人分 (最大10,000円分のポイント)**
  - ◆ ポイント付与は2021年1月末まで、利用は3月末まで



(※) 新規加盟飲食店については、キャンペーン期間中の月額基本料を無料とすることを事業参加の要件とする。

## 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

### <利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
  - ②なるべく普段一緒にいる人と、
  - ③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに。（正面や真横はなるべく避ける）  
（食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。）
- ・会話する時はなるべくマスク着用。（フェイスシールド・マウスシールド※<sup>1</sup>はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要※<sup>2</sup>。）
  - ※<sup>1</sup> フェイスシールドはもともとマスクと併用し眼からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
  - ※<sup>2</sup> 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン★を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

### <お店>

- ・お店はガイドライン★の遵守を。  
（例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。）
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、  
接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードを働きかける。

#### 【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】

- ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
- ・集まりは、少人数・短時間にして。
- ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
- ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客（100名超）からの感染者は出なかった。

## GoToトラベルキャンペーンの運用について

都道府県知事が以下の指標をもとにステージを総合的に判断

- ① 病床のひっ迫具合（入院患者、重症患者）
- ② 療養者数
- ③ PCR陽性率
- ④ 新規報告者数（人口 10 万人当たりの直近 1 週間の陽性者数）
- ⑤ 直近 1 週間と先週 1 週間の比較
- ⑥ 感染経路不明割合

ステージⅢと判断した場合、政府と調整

政府が「GoToトラベル」予約受付の一時停止等を決定

<11月24日、政府において以下を決定>

- ① 札幌、大阪両市を目的地とする旅行について新規予約の受付を停止。期間は 11 月 24 日～12 月 15 日の 3 週間。
- ② 既存予約分についても割引措置の対象から除外（12 月 2 日～12 月 15 日の出発分が割引対象外）。
- ③ 利用客の解約料（キャンセル料）負担はなしとする。
- ④ 予約をキャンセルされた旅行・宿泊事業者（利用客の予約先）には、旅行代金の 35% 相当額を政府が一律負担する。

## 【本県の状況】

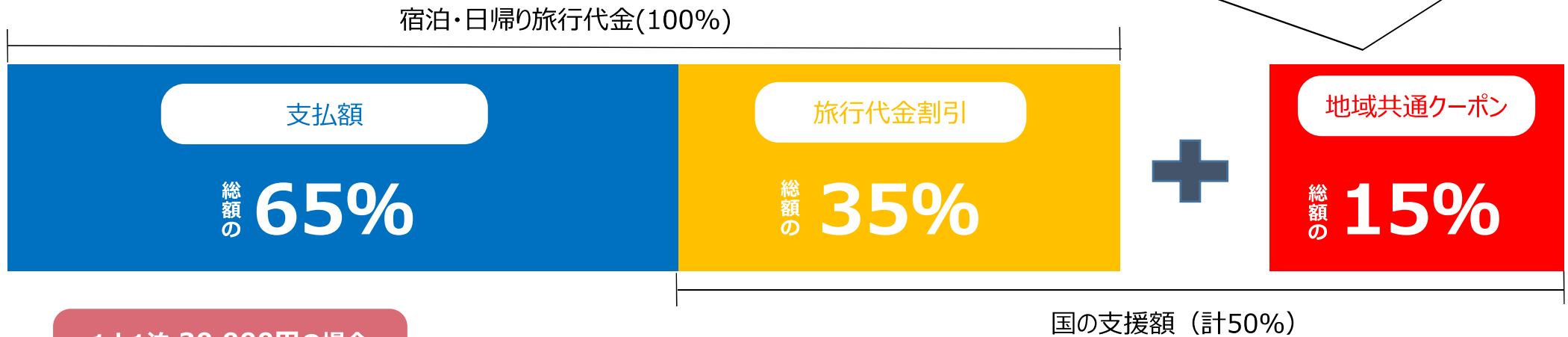
- ◎ 本県の現在の感染状況は、ステージⅢに該当しないので、現段階では、政府に対するGoToトラベルキャンペーンからの除外協議を行う状況にはない。

# Go To トラベル事業の概要

失われた旅行需要の回復や旅行中における地域の観光関連消費の喚起を図るとともに、ウィズコロナの時代における「安全で安心な旅のスタイル」を普及・定着させる。

- **国内旅行**を対象に宿泊・日帰り旅行代金の**35%**を割引（7月22日から開始）
- 加えて、宿泊・日帰り旅行代金の**15%**相当分の**旅行先**で使える**地域共通クーポン**を付与（10月1日から開始）
- 国の支援額（旅行代金割引＋地域共通クーポン）は、1人1泊あたり**2万円が上限**（日帰り旅行は、**1万円が上限**）
- 利用回数の**制限なし**

・旅行先の**都道府県＋隣接都道府県**の土産物店、飲食店、観光施設、アクティビティ、交通機関などにおいて、**旅行期間中**に限って使用可能  
・1枚1,000円単位で発行する紙クーポン（商品券）と電子クーポン



1人1泊 20,000円の場合



20,000円の旅行商品を選ぶ



支払額は13,000円  
(旅行代金割引は7,000円)



地域共通クーポンによる還元  
3,000円（旅行代金の15%）

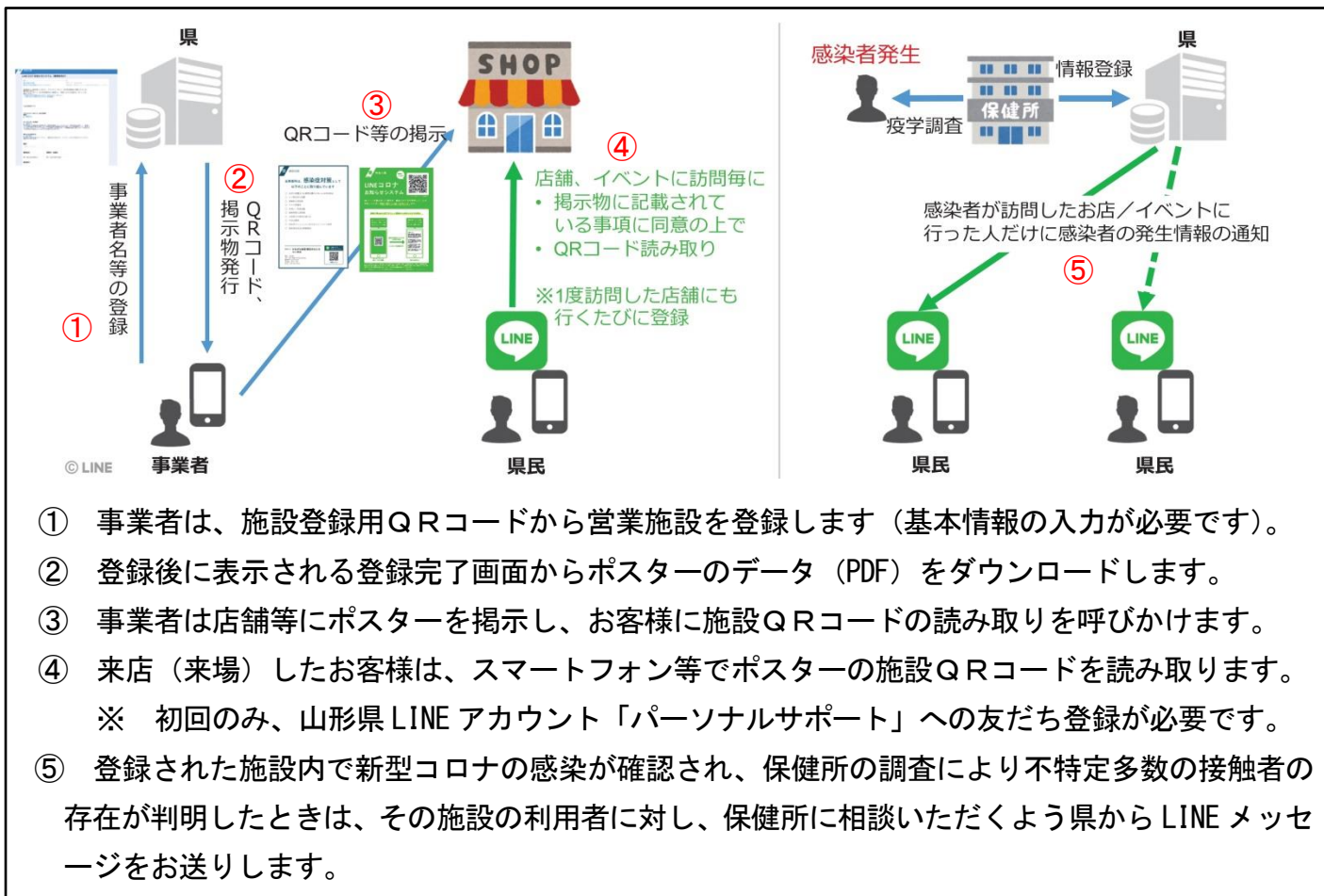
## LINE 公式アカウント「山形県-新型コロナ対策パーソナルサポート」

## 「山形県新型コロナ安心お知らせシステム」を開始しました

## 「山形県新型コロナ安心お知らせシステム」について

このシステムは、皆様に安心して店舗やイベント等をご利用いただくためのものです。

県が事業者の申請に基づいて発行する各店舗等専用のポスターの施設QRコードを読み取っていただくことで、LINEのIDで利用履歴が記録されます。また、万一、登録店舗等を介した新型コロナ感染症が発生した場合、濃厚接触が疑われる方に対して、県から迅速にお知らせします。



## 「山形県-新型コロナ対策パーソナルサポート」について

新型コロナパーソナルサポートの画面イメージ



新型コロナに関する各種情報を提供する県のLINE公式アカウントです。次のような機能を備えていますのでご利用ください。

- ① 新型コロナ安心お知らせシステムの施設利用記録
- ② 新型コロナに関する総合情報
- ③ 感染症に関する相談窓口のお知らせ
- ④ 感染症に係る各種支援制度のお知らせ など

右のQRコードをスマートフォンで読み取って、LINE公式アカウント「山形県新型コロナ対策パーソナルサポート」への友だち登録をお願いします。



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



## 「山形県新型コロナ安心お知らせシステム」の登録のしかた

### 《事業者の皆様へ》 ※ LINE アプリがなくても施設登録は可能です。

- ① 右の登録QRコードをスマートフォンで読み取ります。
- ② 「山形県新型コロナパーソナルサポート」の施設QRコード発効フォーム画面が表示されますので、次の項目を入力します。
  - 施設の基本情報（対象施設の業態や規模など）
  - 店舗・施設所在地／イベント開催場所
  - 連絡先（施設等の電話番号、メールアドレスの登録が必要です）
  - 利用規約への同意
- ③ 登録後に表示される登録完了画面から、QRコード付きポスターのデータ（PDF）をダウンロードします。
- ④ このポスターをプリントして施設内に掲示し、お客様に登録を呼びかけてください。

施設登録はこちらから



### 《店舗等の利用者の皆様へ》 ※ ご利用にはLINE アプリが必要です。

- ① 登録された施設を利用された際、その都度、ポスター等の施設QRコードを読み取ります。
  - ※ 県LINEアカウント「山形県新型コロナパーソナルサポート」との友だち登録が終了していない場合は、友だち登録画面が表示されます。メッセージに従って友だち登録をお願いします。
- ② 施設QRコードを読み取った施設内で新型コロナの感染が確認され、保健所の調査により不特定多数の接触者の存在が判明したときは、その施設の利用者の方に対し、保健所に相談いただくよう県からLINEメッセージをお送りします。



## 「安心お知らせシステム」の対象施設やイベントの例

対象施設・イベントに制限はありません。不特定多数の方の利用が見込まれる際にご活用ください。

【食事提供施設】飲食店、居酒屋、喫茶店 等	【劇場等】劇場、映画館 等
【集会・展示施設】多目的ホール、文化会館 等	【博物館】博物館、美術館、図書館 等
【運動施設・遊技場】体育館、パチンコ店 等	【遊興施設】バー、スナック、カラオケ 等
【商業施設】ショッピングモール、家電量販店 等	【その他】ホテル、美容院、式場、学習塾 等
【屋内イベント】コンサート、展示会、スポーツ 等	【屋外イベント】お祭り、野外フェス、スポーツ 等

## 個人情報の取扱いについて



県が保有するのは、友だち登録いただいたLINEのIDや登録の際に選択いただく居住エリア、アンケートで回答いただく体調等の情報に限られます。これ以外の個人情報を登録いただく必要はありません。また、これらの情報は「山形県 - 新型コロナ対策パーソナルサポートシステム個人情報保護方針」に基づいて適切に管理されます。